

平成24年度NPO 等による文化財建造物の管理活用事業

(1) 事業名称等

【事業名称】 歴史的建造物修復技術講習会とその社会実装

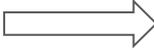
【実施団体】 社団法人 富山県建築士会

【事業経費】 638, 000円

(2)事業の目的

富山県内にある多数の歴史的町並み、歴史的建造物

その多くが  調査、修理、修景、維持管理、活用  を必要としている

 修復設計や維持管理に必要な知識、技能をもった人材の育成をする



講習会で実践的な技能を身につける
技能を地域のまちづくりの活かす

(3) 事業活動の内容

事業① 歴史的建造物修復技術講習会Ⅱ・・・

歴史的建造物修復設計のための調査手法の研修

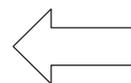
事業② 吉久地区建物調査・・・まちづくりへの参加協力

事業③ 吉久まちづくりワークショップの開催・・・まちづくりへの啓発活動

高岡の建物



瑞龍寺



吉久の町並



山町筋



金屋町



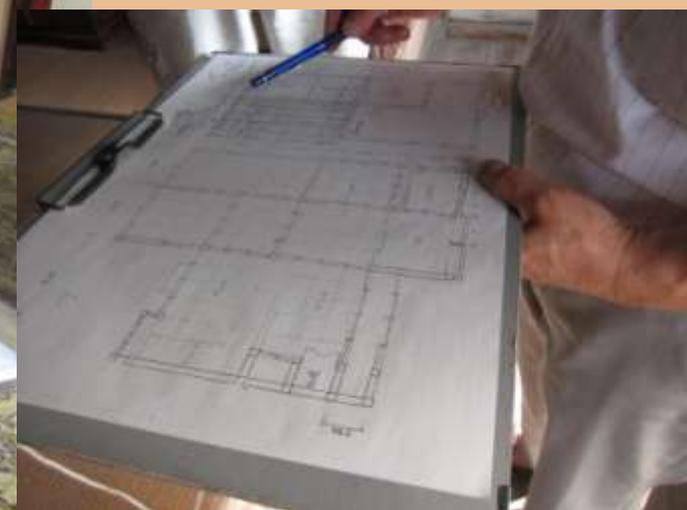
福岡町



勝興寺

1回目 平成24年7月21日(土)
軸部のスケッチ(断面・伏図) 2階平面・展開スケッチ作成

2回目 平成24年7月28日(土)
伝統工法の耐震診断・伝統工法の耐震補強 講義
スケッチした箇所の実測作業



3回目

平成24年9月1日(土)

瓦の材料、施工について講義
瓦の調査方法についての研修

瓦の打音検査方法について



4回目

平成24年9月15日(土)

建具、表具の材料と施工についての講義

建具、表具の調査についての研修

野帳の作成



調査結果発表

5回目

平成24年10月6日(土)

畳の材料と製作方法についての講義

畳の調査方法についての研修

手縫い床

古い畳を解体する



調査結果発表



6回目

平成24年10月28日(日)

左官材料と施工方法についての講義

左官壁の調査方法と修復方法についての研修

調査結果発表



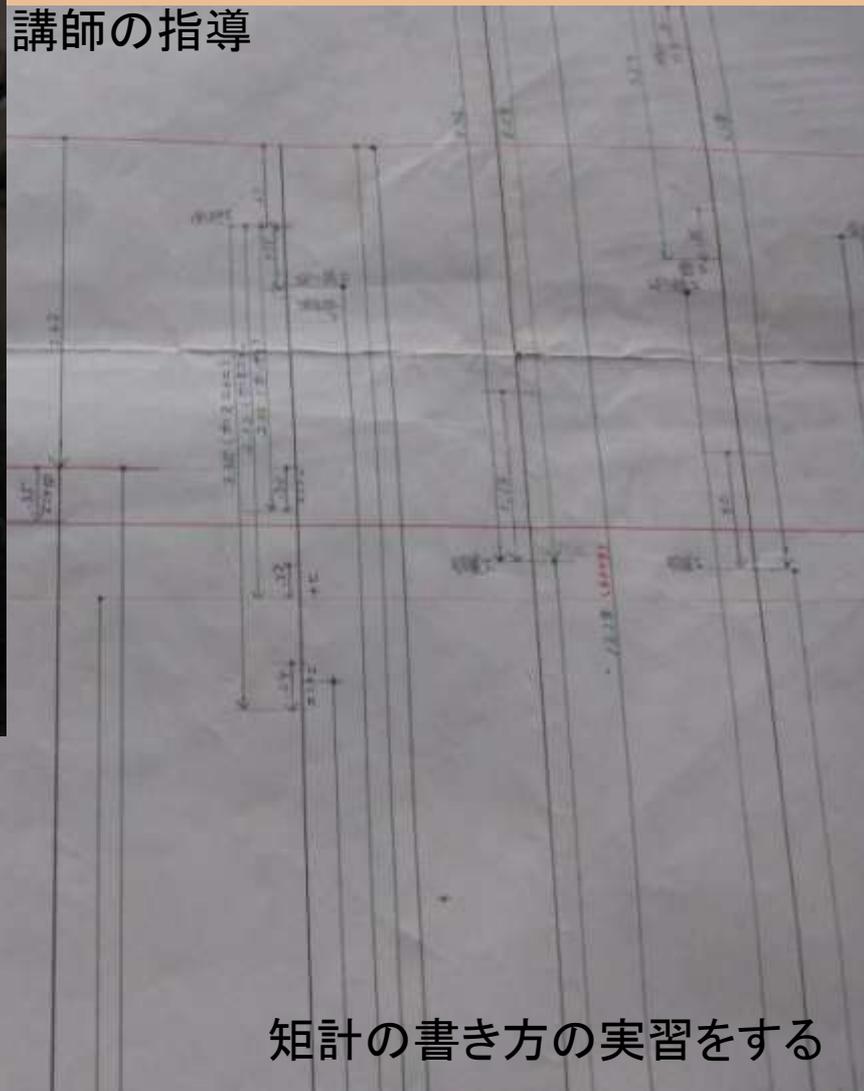
模型による土壁の説明

7回目

平成24年11月18日(日)
木部の架構調査方法の研修



講師の指導



矩計の書き方の実習をする



8回目

平成24年12月15日(土)

木部の破損調査方法と記録の仕方の研修

木部の破損修理方法についての講義

修復現場見学 金沢市東山



調査結果発表



修復工事中の現場を5軒見学する

9回目

平成24年12月22日(土)

立面の実測

講習会の総括と報告書作成についての説明



講師の指導



調査報告書

9回目つづき

平成25年2月2日(日)
文化財の調査・修復についての講義
勝興寺修復現場見学



吉久地区建物調査

平成25年1月26日(土) 1回目調査
 平成25年2月2日(土) 2回目調査

調査地地図

吉久建物外観調査 2013(調査員記入用紙)

第1回調査 調査員【 宏念 】 調査月日【 1/26 】 写真撮影済【 】 撮影者【 】
 第2回調査 調査員【 】 調査月日【 / / 】 写真撮影済【 】 撮影者【 】

項目	内 容			備 考
基本事項	番号	建物NO H	土地NO T-29 / 通番号	建物種
	住所	()町()丁目()番地()		
	表示名	二口吉夫		
	建築年	EMTSH ()年		情報元:
	現存建物	①全座 ②付属座(廊・物置・車庫・カーポート・離れ・その他)		
使用状況	使用状況	①利用中 ②空家※ ③その他		
	建物用途	①住宅専用 ②住・兼併用 ③住・工併用 ④商業専用(含事務所) ⑤工業専用 ⑥その他 (6.57割+4%)		
建物配置	間口	(4.7+4.6 = 9.3)m 及び ()間(伝統建築物)		
	建物位置	道路からのセットバック距離 ()m・ <u>道路に0.5m</u> 一部セットバック部分の距離 ()m/利用状況		カーポート有 無有
	前面道路番号	道路NO	前面道路幅員 ()m	
外観調査	構造	①木造 ②鉄骨造 ③RC造 / ①1階 ②2階 ③3階		
	1階伝統的意匠要素 (あてはまるもの 全てに○)	1.庇 ①木質軒裏 ②その他() 2.外壁 ①土壁・漆喰壁 ②下見板・羽目板 ③その他() 3.窓 ①木格子窓 ②木枠がら窓 ③その他() 4.玄関 ①大戸 ②木格子戸 ③木枠がら戸 ④その他()		
	1階正面外観の 残存状況	①大部分残存(3部位以上) ②半分程度残存(2部位) ③少し残存(1部位) ④全く残存せず(0)		
	2階伝統的意匠要素 (あてはまるもの 全てに○)	1.屋根 ①木質軒裏 ②その他() 2.外壁 ①土壁・漆喰壁 ②下見板・羽目板 ③その他() 3.窓 ①木格子窓 ②木枠がら窓 ③その他()		
	2階正面外観の 残存状況	①大部分残存(3部位) ②半分程度残存(2部位) ③少し残存(1部位) ④全く残存せず(0)		

吉久建物外観調査 2013(調査員記入用紙)

建物NO H / 土地NO T-29

表示名 二口吉夫

建築年 EMTSH ()年

使用状況 ①利用中 ②空家※ ③その他

建物用途 ①住宅専用 ②住・兼併用 ③住・工併用 ④商業専用(含事務所) ⑤工業専用 ⑥その他

間口 9.0 m 及び ()m

道路からのセットバック距離 80 m



調査票

吉久まちづくりワークショップ 平成25年2月17日(日)

富山大学芸術文化学部 との共催

協力 吉久町家まちづくり研究会 吉久まちづくり推進協議会

講師：大田省一氏 京都工芸繊維大学 特任准教授 吉久地区出身



吉久まちづくり

前回(平成24年2月)の
吉久の住民・大
伝統的町並みの継承と次世
吉久の伝統を活かした家づくりとまちづくりワ
今回は地元吉久
みなさんと共に吉
吉久を担う次世代

ワークショップ

2013年2月17日(日) 13:00

場所：吉久公民館

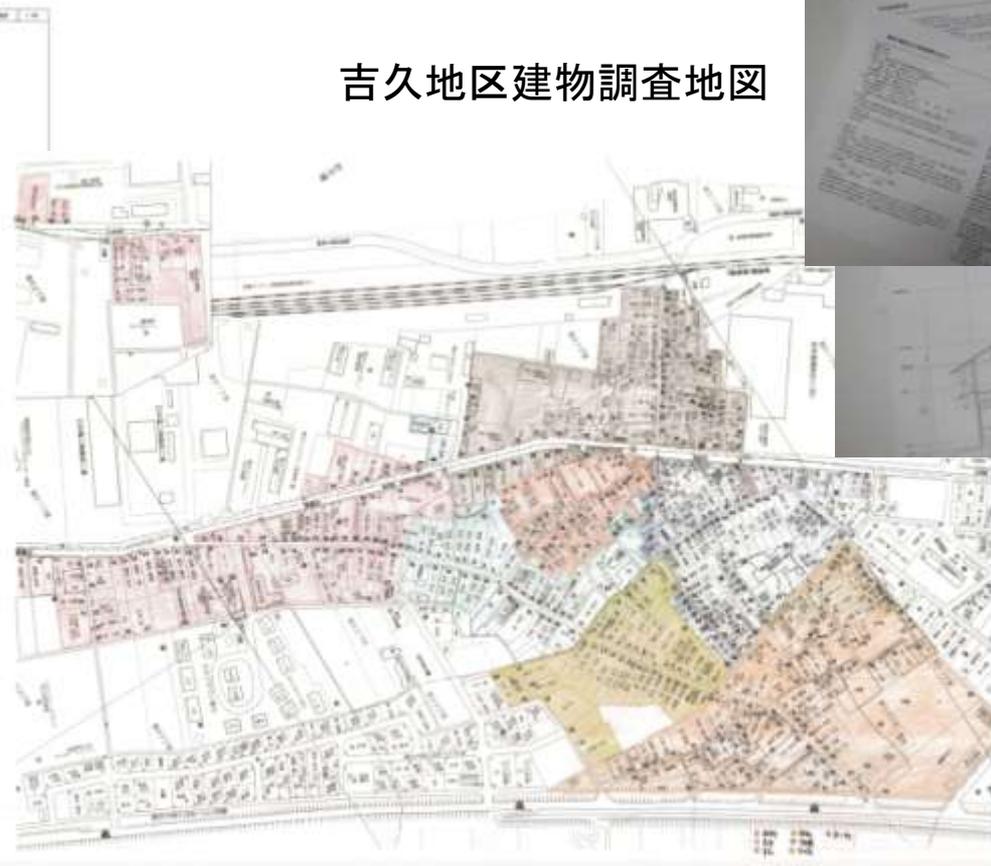
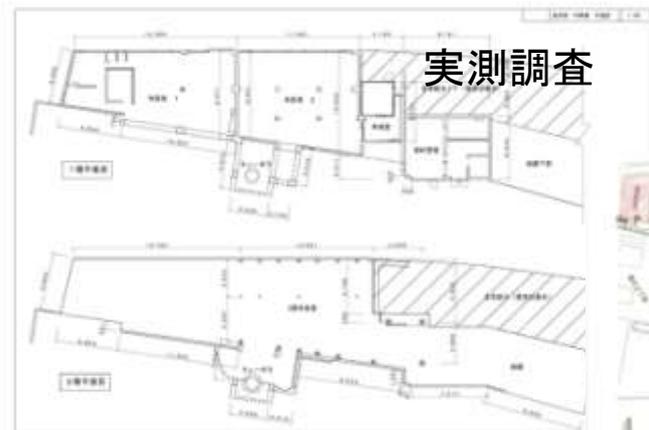
プログラム

講演：大田省一「アジアと日本のまちをまもり、つく
(京都工芸繊維大学特任准教授、専門/建築史・アジア
報告：丸谷芳正「吉久まちづくりアンケート調査報告
ワークショップ：「未来に引き継ぐ吉久のまちづくり」



(4) 事業の成果

- 報告書を作成することで研修内容を現実的なものとして理解することができた
- 職人、設計などの講師の協力で研修内容を実務に近いかたちで行うことができた
- 有志でおこなった金屋町実測調査を通してチームとして作業をすることができた
- 地域のまちづくり団体と協働で作業をすることができた
- ワークショップを通して講習会の目的を住民にも伝えることができた



(5) 事業実施後の課題

- 講習会は昨年度よりさらに若い人や女性の参加が多く、幅広い層に興味をもってもらうことができた。一方施工者には土曜日の講習は参加が難しく、受講者がほとんどいなかった。講習会の日程の組み方に課題が残る。

- 今年度は講習会場のある地域のまちづくりと関った事業も行ったが、今後もそのような地域のまちづくりに継続して関っていくことのできる仕組みをつくる必要がある。各地域の建築士会会員を軸として地域とつながっていくことができるようにしたい。

- 新組織の活動が今年度の事業の中では行うことができなかった。また行政への働きかけも十分行うことができず、目標の達成に至らなかった。今後引続いて取組んでいく課題である。

(6) 今後の展開

- 富山県内の歴史的町並や建築物の保存・活用を進めていくためには、富山県建築士会が組織だって取り組んでいくことが必要である。そのために、次年度は新しい委員会が発足することとなった。
- 新しい委員会では県内のヘリテージマネージャー制度の作成と運営も活動内容としている。昨年度、今年度の講習会での研修や今年度のまちづくり運動との関りをその活動に活かしていきたいと思う。
- 第3期の講習会は吉久地区とは別の地域での開催を予定している。その地域のまちなみ保存団体等と連携した活動をもおこなう。また3カ年の講習会のまとめとして、建築士のための歴史的建造物調査手引書の作成をおこなう。